

ホ プ ラ



令和7年 地域回覧号 第1号

令和7年度 あいさつと笑顔いっぱいの明和西小学校

深緑の折、地域の皆さまにおかれましてはますますご清祥のことと存じます。

令和7年度の明和西小学校はこの4月に42名の新入生を迎える、全校児童322名でスタートしました。学校は、保護者の皆様方、地域の皆様方のご支援・ご協力を得て、より充実した学校教育を行うことができます。本年度も、子どもたちの教育に携わる私たち（学校・家庭・地域等）が共通の認識に立ち、子どもたちの指導・助言・支援にあたることができますよう、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

令和7年度 明和西小学校学校経営方針の紹介

令和7年度の明和西小学校をどのような学校にしていきたいか示した経営方針を簡単にまとめたものをご紹介します。

西小スローガン「あいさつと笑顔いっぱいの明和西小学校」

〈基本目標〉

社会の変化に主体的に対応できる、心豊かで実践力のある、心身ともに調和のとれた児童の育成

〈目指す学校像〉 3つの笑顔

- 児童が長所を伸ばし、違いを認め合うことができる学校（児童の笑顔）
- 教職員が夢を語り、働きがいを感じる学校（教職員の笑顔）
- 保護者や地域がもてる教育力を活かし、学校の応援団になる学校（保護者・地域の笑顔）



1年生を迎える会



交通安全教室



2年生町探検



6年生道路愛護運動



3年社会科の授業

※裏面の「教職員の多忙化解消に向けた協議会発行のリーフレットについて

本校でも保護者・地域・関係団体の皆様のご理解・ご協力のもと、着実に働き方の改革が進められております。西小学校の子どもたちに豊かな学びを届けられるよう引き続き業務改善・働き方改革を進めてまいります。

ぐんまの子どもたちに豊かな学びを届けるために 学校における働き方改革への御理解、御協力をお願いします

教職員の多忙化解消に向けた協議会

先生たちの業務が多忙だと・・・

授業の準備ができない

子どもたち一人一人に
目を向けられない

先生の健康が
守れない

若い人が先生を
目指さない

授業の準備をする
時間がとれる

子どもたち一人一人
に目が届く

そこで、学校の働き方改革を進め、
教員が、教員にしかできない業務に
集中できる環境をつくる取組を進めています。



先生たちのウェルビーイングは、子どもたちの豊かな学びにつながります。

学校や教育委員会だけでは 進めることができなかつた取組が、保護者、地域、関係団体の 皆様の御理解・御協力により、今、進んでいます。

○電話応対時間の設定

勤務時間外に留守番電話や自動応答を導入したり、受付時間を定めたりする学校が増えています。

○休日の地域行事への 引率業務削減

地域と学校のよりよい関係の構築を進めてまいります。地域行事への参加の意義は大きいのですが、休日の場合は学校職員が参加できないこともあります。

○作品募集への参加 の精選

学校単位で出品する作品の精選やとりまとめの縮減を行っています。関係団体の皆様にはインターネットを利用するなど学校を介さない募集方法への見直しをぜひお願いたいします。

○学校行事の精選

式典・行事の目的や意義を踏まえ、時間短縮や内容の精選等を行っています。

○教材費等の 集金方法の変更

引き落としや納付書による支払い、キャッシュレス決済などを導入する学校があります。

○学校との連絡手段 のデジタル化

例えば欠席連絡のデジタル化は時間の有効活用につながっています。必要に応じて電話連絡も行っています。

○登下校対応時間の設定

校門の開門時刻を定めている学校があります。見守り活動等も、いつもありがとうございます。

○進学にかかる手続き 等のデジタル化

学校が受検生に対して行う学校説明会や合格者説明会の内容のオンライン配信、出願手続きのオンライン化などが進んでいます。

○部活動の活動時間 等や校内部活動数 の適正化

生徒や教職員にとって無理のない運営への転換が始まっています。

○部活動の地域連携 及び地域移行

子どもたちが将来にわたりスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保や教員の働き方改革を目指しています。
※公立中学校等を主な対象

欠席連絡がICT化され、朝の時間を有効活用できるようになった

小学校でも教科担任制が進み、担当教科が減り、教材研究の時間が増えた

令和6年度の業務状況等調査（県内全公立学校長が回答）では、「校時表の見直しを行ったことで授業準備等の時間を生み出すことができた」「各種通信をアプリによる配信としたことで、業務時間が大幅に削減された」といった意見がありました。学校・教育委員会は、組織として連携して取り組んでまいりますので、今後とも学校の働き方改革に御理解、御協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。